

呼吸器・アレルギー医療センター 《基本情報》

項目(指標)	数値	収集期間	定義	備考
【入 院】				
稼動病床数	640 床	平成18年度		実際に使用している入院ベッドの数です
新入院患者数	7,114 人	平成18年度		1年間に入院された患者さんの数です
延べ入院患者数	158,412 人	平成18年度		入院された患者さんの数の1年間の累計です
1日平均入院患者数	434 人	平成18年度	延べ入院患者数/365	1日平均、何人の患者さんが入院されているかを示しています
退院患者数	7,154 人	平成18年度	期間中の退院患者数	1年間に退院された患者さんの数です
年齢階層別退院患者数(※1)	別紙1参照	平成18年度	※退院時点の年令で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示しています
主要疾患別患者数(※2)	別紙2参照	平成18年度	※原則としてICD3析分類の上位20疾患とする	主にどのような病気を扱う病院かを示しています
疾病分類別患者数(※3)	別紙3参照	平成18年度		
診療圏別入院患者数(※4)	別紙4参照	平成18年度	府下を11ブロックに分けて集計	どの地域から、どのような病気で受診されているかを示しています
病床利用率 (全体)	69.7	平成18年度		病床数に対して、どれだけの患者さんが利用したかを表し、1年間に平均してどれだけベッドを利用したか示しています
(一般)	76.4 %	平成18年度		
(結核)	53.5	平成18年度		
平均在院日数 (全体)	20.9	平成18年度	延べ患者数-退院患者数+1日入院数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	急性疾患を取り扱うのか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示します。慢性疾患の患者さんが多いと在院日数が長くなります
(一般)	17.6 日	平成18年度		
(結核)	55.1	平成18年度		
病床回転率 (全体)	12.2	平成18年度	(病床利用率/100)×365/平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。慢性疾患の患者さんが多いと回転率は下がります
(一般)	15.8 回	平成18年度		
(結核)	3.5	平成18年度		
入院外来比率	107.6 %	平成18年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100	入院加療を中心とする病院か、外来診療を中心とする病院かという特徴を示します
【外 来】				
新外来患者数	8,841 人	平成18年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	新に外来受診された患者さんの数です
延べ外来患者数	170,503 人	平成18年度		外来受診された患者さんの数の1年間の累計です
平均通院回数	19.3 日	平成18年度	延べ外来患者数/新外来患者数	ひとりの患者さんが1年間に何回通院されたかを示しています
1日平均外来患者数	695.9 人	平成18年度	延べ外来患者数/診療日数	1日に平均何人、受診されたかを示しています
紹介率	51.1 %	平成18年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院かを示します
逆紹介率	40.9 %	平成18年度		逆にこの病院から他病院への紹介の割合です

救急車搬送患者数救	828 人	平成18年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー:自院、他院を含む。)で搬送された患者も含む。	救急車で搬送された患者さんの数です
初診予約率	29.1 %	平成18年度	予約があった初診患者数/初診患者数	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示します

【死 亡】

死亡退院数	389 人	平成18年度		当センターで一年間に死亡された患者さんの数です
粗死亡率	5.4 %	平成18年度	死亡患者数/退院患者数	当センターに入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなります
精死亡率	5.1 %	平成18年度	全死亡患者数-入院後48時間以内死亡/退院患者数	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことも多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高度な医療を提供する病院では重症の患者さんが増え、死亡率が高くなる傾向もあるため、必ずしも病院の診療レベルは反映しません
剖検数	12 件	平成18年度		「剖検」とは病理学的な解剖のことで、死亡した患者さんの死亡原因を詳しく調べる検査です。剖検数が多い病院は死亡原因解明のためにしっかりと取り組んでいるということも示しますが、ご遺族にとって複雑な思いを喚起させる検査でもあり、解釈には注意が必要です
剖検率	3.1 %	平成18年度	「日本内科学会認定医制度認定教育施設=剖検数3例以上」 ・剖検数/死亡退院患者数×100	

【手 術】

施設基準に掲げる手術件数(※5)	183 件	平成18年	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(平成18年1月から12月までの件数)	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術について、1年間に実施した件数です。
入院手術件数	1,005 件	平成18年度		1日以上入院して実施された手術の件数です
日帰り手術患者数	99 件	平成18年度	※ここでの日帰り手術患者数は、入院基本料を算定しており、手術施行した患者で在院日数1日の患者数をいう。	日帰りで実施された手術の件数です
全身麻酔件数	459 件	平成18年度		
硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔	56 件	平成18年度		
硬膜外麻酔	0 件	平成18年度		
脊髄くも膜下麻酔	64 件	平成18年度		
伝達麻酔	0 件	平成18年度		
その他の麻酔	0 件	平成18年度		

【医療安全】

医療事故発生件数	3b=12 件	平成18年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b:濃厚な処置や治療を要した事例	医療に関する透明性を高めるため、府立5病院では、共通の公表基準にもとづき、医療事故を公表しています
----------	---------	--------	---	---

【その他】

研修医受入れ人数	2 人	平成18年度	各月1日における人数の平均 <管理型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示しています
レジデント受入れ人数	5 人	平成18年度	各月1日における人数の平均	

指導医数	51 人	平成19年4月 現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者(H19.4月現在届出数)	
医療相談件数	4,716 件	平成18年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	専門の職員による医療や社会保障制度等に関する相談、支援の体制を示しています
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	4,716 件	平成18年度	1援助のべ件数、実人数は555人	
セカンドオピニオン件数	37 件	平成18年度	新規相談件数	肺腫瘍、肺炎腫、非感染性呼吸器疾患を対象としています
患者対看護職員数	10対1	平成18年度	看護体制(一般病棟)	看護体制の充実度を示しています
	15対1	平成18年度	看護体制(結核病棟)	
認定看護師数	2 人	平成18年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数(H19.3.31現在)	
専門看護師数	1 人	平成18年度	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数(H19.3.31現在)	
継続看護の実施件数	101 件	平成18年度	在宅療養指導料算定患者数	在宅での療養支援に積極的に取り組んでいるかを示しますが、病院の扱う疾患の特徴にも左右されます
大阪府立看護大学大学院非常勤講師	2 人	平成18年度		
実務実習認定薬剤師	8 人	平成18年度	日本病院薬剤師会が定める長期実務実習指導薬剤師の有資格者	薬学部の学生の薬局業務についての実務実習を指導します
院外処方箋率	88.4 %	平成18年度	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります
診療情報の開示件数	9 件	平成18年度	年間の総開示件数	
治験新規契約件数	28 件	平成18年度	※「治験契約件数」はプロトコル数。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数【DPC研究班定義】	臨床試験に積極的に取り組み、新しい治療法、新薬の開発に貢献しているかを示しています
クリニカルパス種類数	49 種	平成18年度		
クリニカルパス適用率	26.2 %	平成18年度	クリニカルパス適用患者数/新入院患者数	医療の標準化に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、高度な医療を提供する病院では適用が難しい場合も多くあります
放射線治療件数	5,615 件	平成18年度		
CT撮影件数	10,620 件	平成18年度		
MRI撮影件数	1,403 件	平成18年度		